

【主たる中施策事業】評価と現状認識									
昨年度評価(R6年度)									
※	1_事業名	2_関連する重点事業名	3_総合評価	4_R6年度決算①	5_R7年度予算②	6_差(②-①)	7_評価と現状認識		8_所属
32	商工業の育成振興事業		B	80,078	83,024	2,946	商工業者の経営の安定を図るため、セーフティネットの認定や信用保証料の助成を実施し、需要に応じることができた。また、小規模企業者等の振興に資するため、人材確保、デジタル化への対応や販路拡大などの各種の課題に対応できるメニュー型の補助制度を創設した。今後は企業訪問などで事業者の声を聞き、適切な支援策につなげていく。 花マルシェプロジェクトにおいては、SNS発信を積極的に行ったことで堅調な来場者数をキープすることができた。		産業支援課
32	企業誘致事業		A	87	144	57	事業主体である県企業庁が分譲する柿ノ木工業団地については、1次、2次募集で12区画中、10区画の契約が完了した。 残る2区画の募集にあたり、申込みのあった企業に対して、市として審査を実施し地域と共存できるような企業を誘致できるように企業庁へ意見を提出していく。		産業支援課
31	観光活性化事業		B	10,527	10,590	63	市の一大イベントである「桶狭間古戦場まつり」は雨天予報により一部を除き中止となつたが、古戦場伝説地でのガイドにより約500名の来場者に対してガイドを実施することができた。また、「桶狭間合戦の真相」と題して講演会を開催し、桶狭間の戦いの地豊明をPRすることができた。今後もSNSを活用した情報発信に力を入れていく。		産業支援課
24	ふるさと豊明応援寄附推進事業		C	9,542	10,500	958	一年間を通して4つのポータルサイトが正常に機能したことや、大口の寄附があったことなどから寄附額が増加した。また、返礼品についても昨年より約60品ほど増え、登録数としては過去最高となった。一方、2事業で行ったクラウドファンディングを活用したふるさと納税についても一定の効果があったことから、今後も引き続き共感が得られる事業の選定を行い継続していく。		産業支援課
32	農業振興事業	・地域計画策定関連事業 ・農業振興推進事業	C	15,332	19,737	4,405	地域計画の策定において、地域の農業者等と協議を行い「地域農業の将来の在り方」「地域農業において重要な農地」を示すことができた。また、地産地消を推進するために豊明産農産物PRの実施やJAとの連携協定に基づき産地直売場開設時にはイベントバスを運行した。 農業者支援として病害虫防除対策補助を始めとした各補助事業を実施したが、温暖化の影響や資材高騰等で農産物を今までと同様に出荷することが難しく、農業者にとって厳しい状況にある。		農業政策課
32	農業委員会事業	・タブレット端末整備事業	B	11,407	9,470	-1,937	農業委員会総会審議、地域計画策定における協議及び農地利用最適化活動を適切に実施した。 タブレット端末を全委員に配布し活用してもらうことで、現地調査活動を効率的に実施することができた。		農業政策課
7	市道等維持管理事業	・道路(橋梁)等長寿命化事業 ・道路舗装修繕事業 ・道路照明施設LED化事業	A	276,210	299,851	23,641	法令に基づく橋梁点検を実施し、長寿命化を図るために点検結果を反映した修繕工事を実施した。道路舗装修繕工事を計画的かつ効果的に実施した。道路等の照明施設をリース契約によりLED機器へ交換を行い、費用、使用電力、排出Co2の削減ができた。		土木課
7	交通安全施設管理・整備事業	・交通安全施設整備事業	A	30,180	33,424	3,244	通学路交通安全プログラムでの点検箇所ならびに交通安全施設工事区長要望による安全対策が必要な箇所を整備することにより、児童等通行者の安全を確保することができた。		土木課
19	総合治水対策事業	・河川維持浚渫事業 ・排水路整備事業(寺池地区関連) ・田んぼダム治水対策事業	A	62,078	559,277	497,199	市が管理する河川に堆積した土砂の浚渫を行い、流下能力の確保を行つた。寺池地区の区画整理事業に関連し、既設排水路のルート変更のためのバイパス管路を整備した。田んぼに流出調整ができる排水口等を設置し、浸水被害の軽減を図った。		土木課
29	公園施設整備事業	・三崎水辺公園改修事業 ・公園施設改修事業	A	100,381	151,358	50,977	三崎水辺公園の大規模リニューアル事業は、令和6年度より本格的に工事着手し、企業版ふるさと納税やクラウドファンディングも継続して活用しながら概ね計画通りに進捗している。 街区公園のリノベーション事業については、近隣住民の意見を反映しながら丸ノ内公園の再整備が完了した。公園施設全般として老朽化が進んでいていることから、できる限り予防保全型による施設改修を進める必要がある。		都市計画課
10	公園緑地管理事業		B	130,226	132,911	2,685	都市公園の指定管理は、市と指定管理者が連携協力しながら事業を推進することにより、指定管理者の強みであるイベントを多数開催し賑わいの創出に寄与することができた。また、公園機能の増進に資するものとして指定管理者の自主事業により令和5年度から自動販売機の設置を行つており、令和6年度はさらに5公園に5台設置し、利便性の向上に取り組むことができている。 一方で、草刈や樹木剪定といった維持管理に関する面においては、夏場の猛暑などの影響もあり作業がスケジュール通りに進まないところもあり、公園利用者に対して十分な満足感を与えていない。		都市計画課
10	墓地管理事業	・勅使墓園包括指定管理事業	B	18,181	23,200	5,019	家族形態の変容により墓離れの傾向が進んでおり、新規の使用許可件数が返還件数を下回っている。指定管理による維持管理については、仏花販売や墓の見守りサービスが利用者に周知されつつあり、特に仏花販売については好評である。		環境課
8	都市計画道路整備事業	・桜ヶ丘沓掛線道路改良事業	A	27,944	24,104	-3,840	県道名古屋岡崎線に接続する、市道桜ヶ丘沓掛線の道路予備設計及び、用地調査業務を計画とおり実施することができた。地権者及び地域に対し説明会を実施し、市の方針を示すとともに直接意見を賜ることができた。今後は地権者との合意形成が必要になるため、寄り添った対応不可欠である。		都市計画課

【主たる中施策事業】評価と現状認識								
※	1_事業名	2_関連する重点事業名	3_総合評価	4_R6年度決算①	5_R7年度予算②	6_差(②-①)	7_評価と現状認識	8_所属
10	土地区画整理事業	・新市街地整備事業(間米南部地区)	A	460,000	1,773,859	1,313,859	間米南部土地区画整理事業は、造成工事が本格的に始まり、新たなまちが醸成されていく期待感が高まっている。事業が円滑に進むよう、引き続き組合及び業務代行者へ指導・監督していく必要がある。	都市計画課
32	工業団地整備事業	・工業団地整備事業(柿ノ木工業団地)	B	10,812	3,899	-6,913	柿ノ木工業団地は、県事業の県道名古屋岡崎線の整備工事とも調整しながら計画とおり事業を進めることができた。令和7年度が事業完了予定となる。引き続き、県企業庁と協力連携し事業を進めていく。	都市計画課
24	公共下水道維持管理事業	・流域下水道事業(建設事業負担金) ・全県域污水適正処理構想計画事業 ・豊明市下水道事業経営戦略改定事業	A	1,166,916	1,257,969	91,053	令和7年度の下水道事業経営戦略の改定に向け、下水道事業経営検討委員会において「公共下水道未普及地区の整備方針」と「適正な下水道使用料の方向性」について検討を行った。また、ストックマネジメント事業については計画に基づき、点検・調査を実施した。	下水道課
6	ごみ減量啓発事業		B	832	2,760	1,928	ごみ減量化のための出前講座や資源分別説明会の参加人数は目標を大きく達成している。加えて、広報による情報発信や環境フェスタを通じた啓発活動、クリーン月間の通年化などによりごみの量も着実に減少傾向にある。	環境課

※事業が関連するめざすまちの姿の番号です。No.90はめざすまちの姿関連外事業です。

「3_総合評価」から「6_差」の内容は、各所属の中施策評価書からの転記です。